

持続可能な観光、 「サステナブルツーリズム」の 主流化に向けて

2018年 2月20日(火) 12:30開場 13:00~17:30

[会場] 沖縄科学技術大学院大学(OIST)ミーティングルーム1・2
沖縄県国頭郡恩納村谷茶1919-1(駐車場有)

参加費:無料

第一部 シンポジウム 13:00-15:00

持続可能な観光、
「サステナブルツーリズム」の主流化に向けて

基調講演

高山 傑

アジアエコツーリズムネットワーク(AEN)会長
10YFP国連サステナブルツーリズムプログラム諮問委員

パネル討論

登壇者

高山 傑

市原秀彦
沖縄観光コンベンションビューロー事務局次長

與座嘉博
JATA沖縄支部長 / 株式会社国際旅行社代表取締役社長

花井正光
NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会会长

コーディネーター

新垣裕治
NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会副会長 / 名桜大学国際学群教授

第二部 分科会 15:00-17:30

環境保全型体験観光のさらなる推進と
ブランド化に向けた課題を考える

第一分科会

持続可能な観光とプラットフォーム、地域DMOが果たす役割について

登壇者

古賀 新
NPO法人沖縄県カヤック・カヌー協会事務局長

島袋裕也
NPO法人東村観光推進協議会エコ部会役員

中村圭一郎
一般社団法人沖縄体験観光協会事務局長

コーディネーター

花井正光
NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会会长

第二分科会

持続可能な観光の推進に欠かせない仕組みとは

登壇者

稻井日出司
株式会社シーサー代表取締役

中島 泰
公益財團法人日本交通公社主任研究員

小林政文
ホールアース自然学校沖縄校
がじゅまる自然学校代表

東恩納亮
謝名瀬地区保全利用協定代表事業者
ドルフィンループダイビングサービス代表

コーディネーター

山岸 豊
NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会特別研究員 / 株式会社サスチュア代表取締役



©yui-kunigami

2017年は、国連の定める持続可能な観光の国際年でした。各国政府及び観光業界ではさまざまな取り組みが展開されました。サステナブルツーリズムの概念はエコツーリズムをも包摂するものです。本県は全国に先駆けエコツーリズムの普及に取り組んできた経緯があります。しかしながら、エコツーリズムの推進に未だ多くの課題を抱えている現状にあります。本県はより広い観点から来し方を振り返り、近時の動向にも呼応できるあり方を見出す必要があります。



©yui-kunigami

そのため、本研修大会はサステナブルツーリズムの概念や国内外の動向について考え、理解を深めるとともに認識の共有を図る機会といたします。また、国連世界観光機関(UNWTO)による観光倫理憲章が枠組み条約に移行したり、新たな国際目標として2016年から「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みが始まり、観光分野での貢献が求められているなどの国際情勢についても情報の共有を図ります。第一部の基調講演とパネル討論を受け、沖縄県における環境保全型体験観光のブランド化も視野に、持続可能な観光への弾みを期すために二つの分科会を設けて課題や目標について議論を行います。

参加お申し込み方法（ご自由にご参加ください）

下記URLのお申し込みフォームへ必要事項をご記入のうえ送信願います。
<https://goo.gl/forms/iNuuxAmbz3XwNcSk2>



こちらからも
お申し込み
頂けます。

お問い合わせ

本研究大会へのお問い合わせは、下記にて承っております。
NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会
Email info@ecotourism-okinawa.jp Tel. 080-2727-1386

主催：沖縄県文化観光スポーツ部観光整備課（受託事業者：NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会）
後援：OCVB、沖縄経済同友会、JATA沖縄支部

NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会
<http://www.ecotourism-okinawa.jp>

